

## 学校だより「強い子」 第9号

校長 吉田 健太

家庭数

## ⑤ようやく「春」の訪れか。(そうあってほしいです。) ☺

この冬はすいぶん寒かったです。大阪では本格的な雪は降らなかつものの2月下旬まで震える寒さが続きました。北海道や東北地方、北陸では近年まれにみる大雪でした。ようやく2月最後の週末を境に春の気配が色濃くなり、もう3月か---3学期はあつという間だなと感じる時期になりました。3月の稼業日（学校に来る日）は、1～5年生が修了式を含めて16日。6年生が土曜授業・卒業式を含めて15日です。今年度の終わりまで、もう本当にカウントダウンの日々です。

そんな中、2月の下旬には、もっと多かった時期に比べると、毎日の欠席者が大きく減りました。なかなか全員出席とまではいかないものの、ようやく出口が見えてきたように思います。1年生1学級と4年生1学級の学級休業はありましたが、西淀川保健所の迅速な対応協力もあり、学校全体の臨時休業措置はまぬがれ、なんとかぎりぎりの教育活動を継続することができました。欠席をやむなくされた児童への学びの補償も、1人1台PCを活用しながら、なんとか続けることができました。うわさされている新たな変異株のまん延が最小限におさまり、このまま「春」を無事に迎えたい思いです。この間、保護者の皆様に冷静にご対応・ご協力いただいたこと感謝しています。あと少しの期間（そうあってほしいです）、引き続き、同様の冷静なご対応・ご協力をお願いします。

## ⑥感動。そして考えさせられました。☺

北京での冬季オリンピック。児童・保護者の皆さんはテレビ観戦されたでしょうか。もともと雪国で6年間暮らし、ワインタースポーツ好きなこと也有って、私は、けっこう熱心にテレビ観戦しました。月並みな表現ですが、さまざまな場面に感動し考えさせられました。

氷の溝にはまり、また、強い思いで挑んだ4回転半ジャンプが未完成なままで終わったフィギュアスケート羽生選手の「努力が必ず報われるわけではないことを知った。けれど、報われなかった今も幸せ。」という、誰も達したことのない目標を掲げ想像を絶する努力を重ねた人にしか発せない言葉。誰もできない技をやり遂げながらも不本意な得点をつきつけられたことに心折れることなく、つづく滑りで同じ技をより完璧に披露し、圧巻の金メダルを勝ち取ったスノーボードハーフパイプの平野選手。そして、奇跡の4位通過から強敵スイスを破って決勝に進んだカーリングのロコソラーレ。ほかにも多々。あの場面もこの場面も。心に迫ったのは、圧倒的な個人の強さとその根拠となる努力の日々です。そして、その強さをより高めるチームワークです。「強い人」「強いチーム」をたくさん観ることができました。

たびたびお伝えしていますが、姫島小学校で長年にわたり受け継がれている教育目標は、「強い子」を育てることです。人生の可能性を広げる「確かな学力」を備えている。人生を生き抜く土台となる「健康な身体と強靭（きょうじん）な体力」を備えている。そして、人生を温かなものにする「思いやりのある豊かな心」を備えている。---そんなイメージです。大人になるにつれ、さまざまな困難に直面します。心折れそうになる日々もたくさん経験します。それを乗り越えた「強い人」。子どもたちには将来そのような人になってほしいと思いますし、我々大人たちも「強い人」でありたい。そのような思いを、テレビに映し出される選手たちの姿を観ながら、新たにしました。

裏面につづく



## ◎6年生卒業に向けて1～エール◎

6年生のみなさん、いよいよ卒業の日が近づいてきました。3月の稼業日（学校に来る日）は、先ほど書いたように土曜授業・卒業式を含めて15日。正門をくぐり、下足箱で上靴にはきかえ、朝の教室に向かう。笑顔で友だち・担任の先生とあいさつをして1日が始まる。小学校でのそんな毎日があと15回。1日1日を大切にすごしてほしいです。

中学校は楽しみですか。授業ごとに先生が代わり少しずつ難しい勉強に挑戦します。内容が深まるので学ぶ喜びも大きいと思います。放課後は部活動。全員が部活動に入るわけではないと思いますが、思い切り好きなことに取り組めるので、ぜひ、あれこれと考えて納得のいく部活動に取り組んでほしいです。校長先生は、中学校ではバスケットボール部（その後はラグビー部にかわりました）に入部し、毎日汗まみれになっていました。昔の運動系の部活動なので、耐え難いえげつない練習や心折れる悔しい思いも体験しましたが、ともにがんばったチームメイトとの時間は、「映像」として、今もありありと思い出すことができます。苦しかったはずなのに、思い出すのは楽しそうな笑顔です。好きな子ができる胸をどきどきさせたり、将来の夢が少しずつ具体的になって奮い立ったり、どれもこれも大切な体験であり思い出です。

中学生だった自分自身のことだけではなく、校長先生は、長い間、中学校教師の仕事も経験しましたし、自分の子の中学生の親も経験しました。そのすべてをふまえて強く思いますが、中学校3年間はとても「濃い」時間です。悩んでしまうこともあるかもしれないけれど、それも含めて素敵な時間だと思います。乱暴にいうと、「子ども」が「大人」になる時間です。中学校3年生でもまだ子どもにはちがいありませんが、それでもいろいろなことを自分で考えて実行することができる、そして、責任感が芽生える。そんな「大人の入り口」にまで成長する3年間です。

6年生のみなさんが、この春からそんな時間をすごし始めると思うと、きらきらとまぶしいです。力強く頑張ってほしいです。

## ◎6年生卒業に向けて2～後輩たちの気持ち◎

3月1日（今日）に6年生の卒業に向けた「卒業を祝う会」が計画されています。今年度は、昨年度と同じコロナ禍の中ではありますが、換気・距離・内容の工夫をおこなって、限られたかたちではあるものの、1年生から5年生が順番に6年生と対面し、お祝いのことば・お祝いの出し物等を披露することになります。この日に向けて、各学年の後輩たちががんばって準備をしているようすが伝わってきました。きっと気持ちのこもった温かな会になると思います。この学校だよりがお手元に届く頃にはすでに終えている状況ですが、ホームページに記事を載せますので、ぜひ、ご覧ください。



## ◎3月の行事◎

3/1（火） 卒業を祝う会

3/2（水） 地区別児童会

3/5（土） 6年生土曜授業

3/18（金） 卒業式

3/23（水） 給食最終日

3/24（木） 修了式

災害・事件・悪天候などの「いざと言う時」に備え、居住地区ごとに集合し、新年度のリーダーと副リーダーを決め、集団下校の訓練をおこないます。集団下校の開始が14:30頃となりますので、通常の水曜日の下校時間と変わりません。いきいき接続も通常どおりです。

6年生のみ1限から4限の土曜授業を実施します。下校は12:30頃になります。

コロナ禍の中での卒業式ですので、各家庭2名までのご家族の参列いたします。9:30 開式です。詳しくはあらためて6年生保護者の皆様にご案内いたします。

今年度の最終稼業日です。下校は11:30頃です。